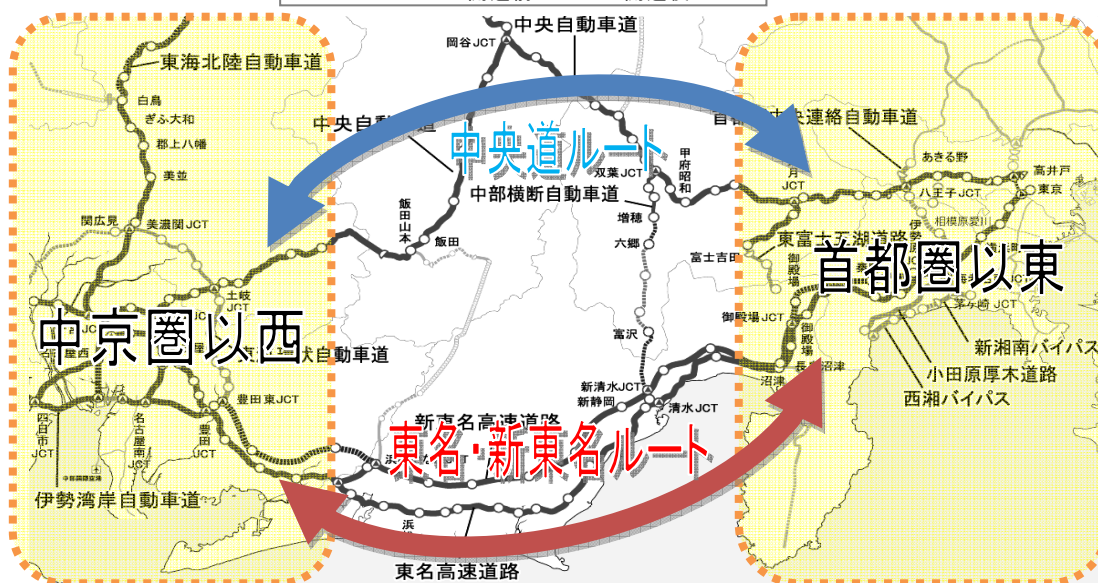
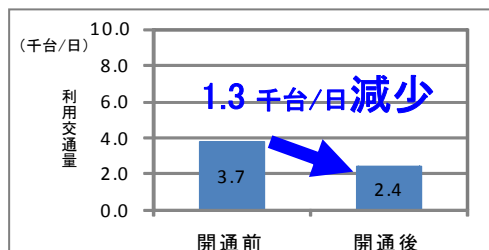


8. 大都市圏間の長距離交通の変化

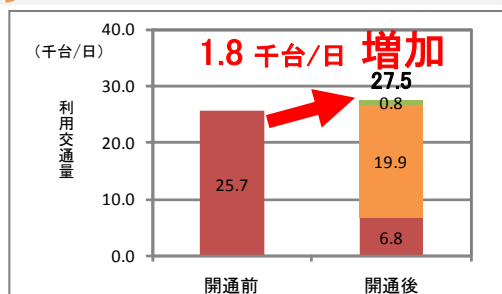
- 首都圏以東⇄中京圏以西の大都市圏間の長距離交通は、中央道ルートは約1.3千台／日減少し、東名・新東名ルートは約1.8千台／日増加しており、中央道から東名・新東名へ転換の傾向

■首都圏以東⇄中京圏以西の大都市圏間の長距離交通の変化

中央道ルート



東名・新東名ルート



～凡例～
 ■ 東名を利用
 ■ 新東名を利用
 ■ 連絡路を利用して、東名・新東名を利用

出典：中日本高速道路㈱ 高速道路利用データ
 開通前：平成23年9月1日(木)～平成23年9月30日(金)
 開通後：平成24年9月1日(土)～平成24年9月30日(日)

TOPICS 新東名と東名の区間交通量 TOP3

新東名と東名の区間交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名“区間交通量”TOP3

順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	新清水 IC～新清水 JCT	44.8
2位	長泉沼津 IC～新富士 IC	44.0
3位	新富士 IC～新清水 IC	43.3

◆東名“区間交通量”減少量TOP3

順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	清水 JCT～清水 IC	▲36.3 (71.2→34.9)
2位	沼津 IC～富士 IC	▲33.1 (74.2→41.1)
3位	富士川スマート IC～清水 JCT	▲32.4 (71.2→38.8)

出典：中日本高速道路㈱ 交通量計測データ (御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
 開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金) 開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年4月12日(金)